



1学期 「KKJ」を合い言葉に

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いろいろな制限のかかる中でしたが、子どもたちは、69日間の1学期、「KKJ」を合い言葉によくがんばったと思います。

1学期の大きな行事は運動会でした。1・2年生のかわいいダンスと一生懸命な姿。3・4年生の楽しいダンスと力強い走り。5・6年生のチームワークとパワー。6年生を中心に自分たちの力で運動会を成功させようとがんばる姿は、本当に素晴らしいものでした。

また、学習面も成長が見られました。龍ヶ岳小は、11月26日(金)に上天草市教育委員会指定「生きる力推進事業モデル校」の研究発表会を行います。1学期にも研究授業を行い、子どもたちが「学びの主体」となるように授業改善を図っています。姿勢、話の聞き方、声の大きさなどの学習規律も徹底し、落ちついて授業に臨むことができています。そして、よく考え、よく話し合い、よく発表するようになってきました。また、学習の基礎基本となる、100マス計算や視写の力も伸びています。

このように学校全体での成長が見られたのは、ひまわり学級のみなさんは「やさしさ」、1年生は「笑顔」、2年生は「元気」、3年生は「明るさ」、4年生は「あいさつ」を学校中に拡げ、5年生は「心臓」、6年生は龍ヶ岳小の「顔」として一人一人が自分の役割を自覚し、がんばってきたからだと思います。

この自分のがんばり・成長を実感し、2学期につなげてほしいと思います。



【6/29 4年：研究授業】



【7/7 5年：研究授業】



【6/23 6年：研究授業】

楽しい夏休みを

明日から楽しい夏休みが始まります。昨年度は14日間でしたが、今年は42日間という長い長い休みです。「海で泳ごう」「家族で旅行に行こう」など楽しい計画を立てていることだと思います。また、「本をたくさん読もう」「虫を捕まえて育てよう」「自由研究に挑戦しよう」など、日ごろ取り組むことができないことに挑戦しようと思っている人もいるかもしれません。一人一人充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

夏休みの合い言葉も「KKJ」です。

- ・地域の人に会ったら どうすればいいか。
- ・朝きちんと起きるためには どうすればいいか。
- ・夏休みの宿題をきちんとおわらせるためには どうすればいいか。
- ・事故に遭わないためには どうすればいいか。

自分で気づき、自分で考えて、それを実行してほしいと思います。

そして、いろいろな体験を通して成長して、9月1日(木)に、元気に笑顔で登校してきてくれるのを待っています。



避難訓練 ～自分の命を守るために～

いろいろな災害から自分の命を守るために1学期は、4月に防災講話、6月に引き渡し訓練、7月に土砂災害避難訓練と不審者対策避難訓練を行いました。

今から49年前の1972年（昭和47年）7月6日は「天草大水害」が発生しました。突然の大雨が上天草を襲い、1時間の雨の量が130mm、1日の雨の量が447mm（但し、当時は観測設備が今日と比べ、劣っていたため、正確な観測はできず、あくまで予測値であると考えられる。）とも言われています。その雨は、上天草の松島、姫戸、倉岳、栖本、そして、龍ヶ岳町の5つの町に集中していて、壊れた家が1000戸を超え、多くの尊い命がうばわれました。

毎年、日本のどこかで、大雨や台風による大きな被害を受けています。1年前には7月3日から4日かけて大雨が降り、人吉地方では球磨川が氾濫して、大きな災害が発生しました。天草でも牛深の方が大きな被害を受けました。そして今年の7月3日には静岡県熱海市で大規模な土石流が発生し、住宅などおよそ130棟が被害を受け、多くの方が亡くなっています。

7月2日（金）には、土砂災害避難訓練を実施しました。その中で、天草大水害を経験した川本学校用務員から子どもたちに話をしてもらいました。



【川本学校用務員の話】

おはようございます。

今から50年前におきた天草大水害について、話をしたいと思います。

昭和47年7月6日の水害がおきた日、私は高校生で岐阜県にいました。幼稚園の先生と調理師の免許をとるために、働きながら学校へ通っていました。雨がひどかった次の日の7月7日の朝、会社の人から「天草で雨がひどく降って、井上（旧姓）さんの家が流されて家族全員行方不明だから、早く天草に帰って来てください」と言われ、すぐに飛行機で帰りました。熊本空港まで行くと空から泥色の海がみえました。このとき鳥肌が立ったのを覚えています。生まれ育った姫戸町に着き、家族を探そうと思いましたが、道路は山からの泥や木や石で思うように歩けません。亡くなった人のそばも通りました。「どうか、この中に家族がいませんように」と祈り、泣き出しそうになりながら歩いていると、見知らぬおじさんから「みんな集会場に避難しとらすから行ってみなさい」と言われました。走って行くと何十人という人たちが、体中泥だらけで、髪の毛は泥水で固くなり、両目は真っ赤にはれ上がって充血し、焦点が合わずぼーっとした顔をしていました。

その中に私は母親の姿を見つけ「お母さん！」と呼びましたが、返事がありません。もう一度「お母さん！」と呼ぶと「あんたはだれかな～」と言われ、やっと探し出した母親の姿を見てショックをうけました。母とおばあちゃん、おじいちゃんは流されたそうです。私の大好きだったおばあちゃんはそのとき、大きな石が頭に当たり、即死だったそうです。大雨は昼間だったので小学校1年生と3年生の妹達は姫戸小学校に行っていて無事でした。しかし、だれも迎えに来る人がいなくて、体育館で夕食も食わず寝たそうです。

去年、人吉で大雨が降って、川が氾濫してたくさんの方が被害にあいましたね。その時の雨よりも天草はたくさんの方が降ったそうです。

今、みんなには家があります。家族がいます。毎日、家で「いただきます」と言ってご飯を食べて、「おやすみなさい」と言って布団で眠れることを当たり前と思わず、幸せに暮らせることに感謝して、困っている人を見かけたら龍ヶ岳小学校で身につけているボランティア精神で助けられる人になってください。

最後に、水害、地震、津波などの自然災害はいつでも、どこでも起きます。このようなことが起こったら、先生方、家族の言われることをよく聞いて、命を守る行動をしてください。

子どもたちは、みんな真剣に話を聞きました。校舎の横や裏には山があり、熊本県土砂災害危険箇所マップでは「特別警戒区域」や「警戒区域」にも指定されていて、がけ崩れが起きると、校舎の半分くらいは土砂に埋もれてしまう可能性があります。自分の命、友だちの命を守るためにも、①大雨や台風のと看、通学路や家の近くでは、どこが危ないか？②家の近くで、がけ崩れしそうなところはないか？を、お子様と一緒にご確認ください。

学校のホームページは毎日更新しています。ご覧ください。